

トヨタ、新ジャンルの高級車「ハリアー」を発売

— スポーツ ユーティリティ サルーン誕生 —

トヨタ自動車(株)は、新ジャンルの高級車「ハリアー*1」を、本日より全国のトヨペット店(大阪地区は大阪トヨタ)ならびにトヨタビスタ店を通じて一斉に発売した。

「ハリアー」は、高級乗用車の基本性能と、スポーツ ユーティリティの機動性・機能性をあわせ持つ、新しい資質を備えたイノベティブなスポーツ ユーティリティ サルーンであり、ライフスタイルをより豊かに、よりアクティブに演出する新型車として誕生した。

その開発では、高級乗用車の優れた動力性能をはじめ、操縦性・走行安定性、静粛性、乗り心地といった基本性能に、スポーツ ユーティリティ ビークルの特長である存在感のあるスタイルや悪路走破性といった機動性と、ステーションワゴンがもつ広いラゲージスペースに代表される機能性を具備。そして、21世紀へ向けての一層の低エミッション化、CO₂削減など地球環境への配慮や高い安全性も実現している。

【主な特長】

- 高級乗用車の基本性能にスポーツ ユーティリティの機動性・機能性を融合
 - 優れた乗降性と悪路走破性の両立を追求した車高や、フロント席サイドウォークスルー、多機能なリヤシートによる快適な室内空間を有するパッケージ
 - BEAMS*2 V型6気筒3.0ℓ (VVT-i*3付)と直列4気筒2.2ℓエンジンによる余裕の動力性能
 - 防振サブフレーム付4輪独立サスペンションと高剛性ボディのほか、エンジンのアイドリング振動を低減するアクティブコントロールエンジンマウント(3.0ℓ車)の採用による、高級乗用車に相応しい優れた操縦性・走行安定性と静粛性、乗り心地
 - 走破性に優れたフルタイム4WD車を設定するとともに、滑らかで高レスポンスな新オートマチックトランスミッションに、マニュアル感覚が楽しめるスポーツステアシフトマチックを採用
 - 各種オペレーション画面を表示する5.8型ワイドディスプレイや、JBLのオーディオサウンドシステムなど各種快適装備を設定
- 力強さとプレステージ性を追求したデザイン
 - フォーマルからアウトドアまで様々なシーンにマッチするエクステリアと高品位なインテリア
- 時代要請に応える多面的な環境への配慮
 - 3.0ℓ車は中央環境審議会の答申も踏まえ、新排出ガス規制に先行して、現行規制値に対しCO、HC、NO_xを70%以上削減
 - CO₂削減を念頭に低燃費を追求
 - リサイクル性に優れたトヨタスーパーオレフィンポリマーの内外装への採用
 - 鉛などの環境負荷物質を低減
- クラス世界トップレベルの高い安全性
 - 高いアイポイントやマルチリンクワイパーによる優れた視認性の確保
 - 衝突安全ボディGOA*4および頭部衝撃を緩和する構造のインテリアの採用やプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルト、デュアルSRS*5エアバッグ、ABSの全車標準装備のほか、SRSサイドエアバッグを全車にオプション設定

*1 ハリアー (HARRIER) : 英語で「鷹(タカ)の一種である“チュウヒ”」の意

*2 BEAMS : Breakthrough Engine with Advanced Mechanism System
(先進機構を備えた画期的エンジン)

*3 VVT-i : Variable Valve Timing-intelligent (連続可変バルブタイミング機構)

*4 GOA : Global Outstanding Assessment (世界トップレベルの安全性評価)

*5 SRS : Supplemental Restraint System (乗員保護補助装置)



ハリアー [GF-SXU10W-AWPGK]
 <オプション装着車>

【車両概要】

1. 高級乗用車の基本性能にスポーツ ユーティリティの機動性・機能性を融合

(1) 快適な室内空間を有するパッケージ

- ① 最低地上高185mmを確保しつつ、シート地上高をフロントで725mm、リヤで745mmに抑えることで、悪路での十分な走破性とスムーズに着座できる乗降性の両立を図るとともに、高い室内高によりアップライトな着座姿勢を提供
- ② シフトレバーをインストルメントパネル中央下部に配することで、操作性を確保しながら足元の開放感を高め、フロント席サイドウォークスルーも実現
- ③ リヤシートはリクライニング機構を備え、フロントシートと組み合わせたセミフラット化が行えるほか、6対4の2分割タイプとし、それぞれが独立して前後に最大120mmスライドでき、用途に合わせたゆとりの室内空間を提供
- ④ ラゲージスペースは、リヤシートにシートバックを倒しラゲージスペースとのフラット化がワンタッチ操作で行えるワンタッチフォールドダウン機構を採用

〔車両寸法等〕

(単位：mm)

全長	4,575	室内長	1,985
全幅	1,815	室内幅	1,500
全高	1,665	室内高	1,205
ホイールベース	2,615	最低地上高	185
トレッド	前	1,565	シート地上高
	後	1,550	
			後
			725
			745

(2) 余裕の動力性能

- ① BEAMS 1MZ-FEエンジン (V型6気筒3.0ℓ VVT-i付)
 - ・ 回転数と負荷に応じて吸気バルブタイミングを最適に制御するVVT-iや、走行状態にあわせて吸気管の長さを制御する3段可変吸気システム(ACIS-IV*)を採用し、クラス世界トップレベルの低中速トルクを実現しつつ、優れた燃費性能を確保
- ② 5S-FEエンジン (直列4気筒2.2ℓ)
 - ・ ペントルーフ型燃焼室の採用、各部フリクションロスの低減により優れた燃焼効率と低燃費を実現するとともに、低中速を重視したバルブタイミングの設定により扱いやすさを追求

〔エンジン主要諸元〕

	排気量 (cc)	最高出力 (PS/rpm)	最大トルク (kg・m/rpm)	10・15モード走行燃費 (km/ℓ)
1MZ-FE	2,994	220/5,800	31.0/4,400	2WD : 9.4、4WD : 8.8
5S-FE	2,163	140/5,600	19.5/4,400	2WD : 9.5、4WD : 9.1

* ACIS-IV : Acoustic Control Induction System-IV

(3) 高い操縦性・走行安定性と優れた静粛性、乗り心地

- ① サスペンションは4輪独立懸架方式とし、フロントにはマクファーソンストラット式を、リヤにはデュアルリンクストラット式を採用し、様々な走行条件下での安定した走りと高級乗用車のしなやかな乗り心地を両立
- ② フロントにパフォーマンスロッドを、リヤには大型クロスメンバーを採用し、左右サスペンション間の剛性を高めることで高級乗用車の優れた操縦性・走行安定性を実現
- ③ エンジンの負圧を利用しアイドリング振動を低減する世界初のアクティブコントロールエンジンマウント（3.0ℓ車）やバランスシャフト（2.2ℓ車）を採用
また、高剛性ボディをはじめ、井型サブフレーム式二重防振構造、フロントフロアへの等曲率パネルの採用、制振材・吸遮音材の効果的配置により高水準なNVH性能を実現

(4) 走りを楽しむドライブトレイン

- ① 高効率トルクコンバーターとフレックスロックアップシステムを採用した高レスポンスな新オートマチックトランスミッション [Super ECT] と、ステアリングから手を離さずにシフト操作を可能とするスポーツステアシフトマチックや登降坂変速制御により、軽快でスムーズなドライビングを実現
- ② センターディファレンシャルにビスカスカップリング式LSDを組み合わせたフルタイム4WD車を設定するとともに、16インチの大径タイヤによるゆとりの最低地上高と十分なアプローチ&デパーチャーアングルにより、悪路でのたくましいドライビング性能を確保
また、4WD車のリヤディファレンシャルには路面状況に応じて適切に左右輪へ駆動トルクを配分する“トルセン”LSDをオプション設定

(5) 各種快適装備

- ① 豊かな量感のシートは優れたフィット感を実現し、長距離走行時でも乗員に快適な座り心地を提供。また、“Gパッケージ”には運転席パワーシートを標準装備
- ② オーディオ、エアコン、FM多重放送（交通情報、天気予報）などのオペレーション画面を表示するGPSボイスナビゲーション付ワイドマルチAVステーションIIを全車にオプション設定
- ③ グローブボックス内にCDオートチェンジャーを設置し、使用性を向上
- ④ クリアな音場を演出するJBLの8スピーカーとパワーアンプを備えるJBLプレミアムサウンドシステムを“Sパッケージ”に標準装備
- ⑤ 視認性が良く高級感あふれるオプティロンメーターを全車に標準装備
- ⑥ ラゲージスペースに、デッキアンダートレイをはじめ様々な用途に対応するデッキサイドバーやデッキフック、アクセサリースocketを装備し優れたユーティリティを追求
- ⑦ 全ドアガラスにUVカットガラスを採用するとともに、“Sパッケージ”ではリヤドア、クォーターウィンドウ、バックドアウィンドウにUVカット機能付プライバシーガラスを標準装備
- ⑧ 解除も足踏み式のパーキングブレーキを全車に標準装備
- ⑨ 灰皿、カップホルダー、電話収納などの様々な用途に対応する二段引き出しタイプの大容量コンソールボックスを採用

2. 力強さと Prestige を追求したデザイン

(1) エクステリア

- ・大きく傾斜したフロントピラーとキャビンフォワードが生み出す流麗で先進的なサイドシルエット、上下2分割したヘッドランプとグリル、円をモチーフにしたスポーティなリヤコンビネーションランプにより力強さと Prestige を表現

(2) インテリア

- ・高級感のあるゆとりの室内には、センタークラスター部を前方に傾斜させた先進的なインストルメントパネルにより、フロント席をそれぞれラウンディッシュに囲み込み、パーソナルな空間を創出

3. 時代要請に応える多面的な環境への配慮

(1) 排出ガス

- ① エミッションの低減を図るため、3.0ℓ車では左右のエキゾーストマニホールド直下にそれぞれ空燃比を精密制御するセンサーと触媒を装着した上で、車両フロア下側部にもセンサーと触媒を配することで浄化性能を高め、中央環境審議会の答申も踏まえ、2000年末から適用予定の新排出ガス規制に先行して、現行規制値に対しCO、HC、NOxを70%以上削減
- ② CO₂削減を念頭に、VVT-iの採用(3.0ℓ車)や摩擦損失の低減などにより3.0ℓ2WD車で9.4km/ℓ(10・15モード走行値)の低燃費を実現

(2) リサイクル他

- ① リサイクル性に優れる熱可塑性樹脂 トヨタスーパーオレフィンポリマーを前後バンパー、大型サイドプロテクションモール、各ピラー、トリムなどの内外装部品に積極的に採用
- ② ラジエーターやワイヤーハーネスの被覆材に、環境への影響の可能性がある鉛を含まない材料を採用

4. クラス世界トップレベルの高い安全性

(1) 予防安全

- ① 高いアイポイントやフロント三角窓、大型ドアミラーの採用により、優れた視認性を確保
- ② ハロゲンランプの約2倍の光量と伸びと広がりのある配光により視認性を高めるディスチャージヘッドランプを“Sパッケージ”に標準装備
- ③ 従来の固定軸式に対し、ワイパーの払拭面積を約1割増加させ、雨天時の視界を広げる可変軸式のマルチリンクワイパーを助手席側に採用
- ④ 制動時の車両安定性を確保するABSを全車に標準装備
- ⑤ 滑りやすい路面での発進・加速時に、駆動力を制御しタイヤの空転を抑えるTRCを3.0ℓ2WD車にオプション設定

(2) 衝突安全

- ① 衝撃吸収ボディと高強度キャビンからなるクラス世界トップレベルの衝突安全ボディGOAを採用
- ② 各ピラーやルーフサイドレールの内装材に、衝撃を吸収するリブを内蔵することにより、将来の米国の頭部衝撃緩和基準('98年9月より米国にて順次適用開始)レベルの性能を確保したインテリアを採用

- ③ アンダーボディおよび取付部を工夫することで、衝突時のブレーキペダルの室内への突出を抑制し、乗員の脚部への衝撃を緩和
- ④ 前面衝突時におけるリヤデッキの積荷移動の衝撃から乗員を保護するため、シートバックフレームや取付部を強化したシートを採用
- ⑤ 運転席・助手席にプリテンショナー&フォースリミッター付シートベルトならびに点滅式シートベルト非着用警告灯を全車に標準装備
- ⑥ デュアルSRSエアバッグを全車に標準装備するとともに、運転席・助手席SRSサイドエアバッグを全車にオプション設定
- ⑦ 運転席・助手席は、被追突時に乗員の首への衝撃を緩和するWIL*コンセプトを新たに取り入れたシート構造を採用

* W I L : Whiplash Injury Lessening (頸部傷害低減)

【販売概要】

- 1. 販 売 店 全国のトヨペット店 (大阪地区は大阪トヨタ)
全国のトヨタビスタ店
- 2. 月販目標台数 5,000台
- 3. 店頭発表会 平成10年1月10日(土)、11日(日)

【メーカー希望小売価格】

(消費税は含まず、単位：千円)

	エンジン	駆 動	トランスミッション	価 格*
ハリアー	5 S - F E (直4 2.2ℓ)	2WD (FF)	Super ECT	2,395
ハリアー FOUR		4WD		2,635
ハリアー 3.0	1 M Z - F E (V6 3.0ℓ)	2WD (FF)		2,695
ハリアー 3.0 FOUR		4WD		2,935

◎ : 掲載写真 (除くオプション)

※ 北海道、沖縄のみ価格が異なる。

Super ECT : スーパーインテリジェント4速オートマチック

“Gパッケージ” は150千円高。

“Sパッケージ” は250千円高。

以 上